

和室のお手入れ

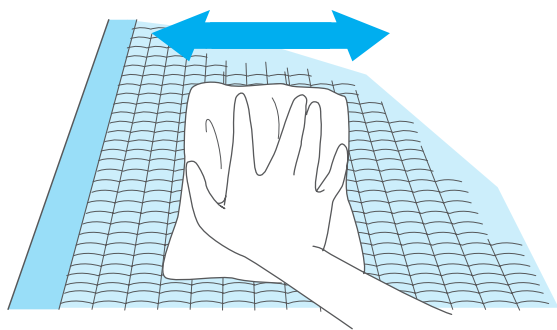
畳は湿気を嫌うので風通しを良くすることが長持ちの秘訣です。

天気のいい日は窓を開けて換気をします。

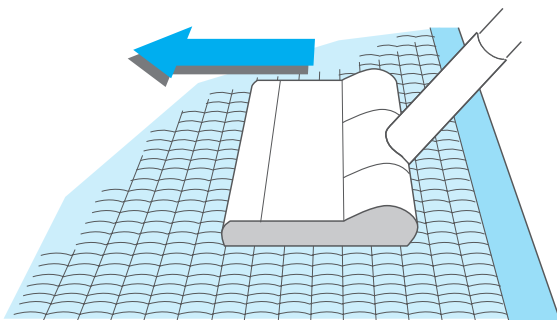
畳表が傷んできたら畳床をそのまま生かして畳表だけを新しく張り替えることができます。

これを「表替え」と言い、購入から3～5年が目安です。

日常のお手入れ



畳の寿命は、日頃のお手入れ次第。上手にお手入れすることで長持ちします。気密性が高く結露の多い住まいの場合はマメにお手入れするように心掛けましょう。



①新畳か表替えをした場合には、まず使用前に乾拭きをして白い粉(染土)を拭き取ります。その場合はタオルのようなパイル地のもので拭き残しがないように丁寧に拭き取ります。

②通常の掃除の場合は、かたく絞った雑巾で畳の目に沿って拭きます。この時脱水機で絞った雑巾が一番適しています。また、お湯を使うと畳表が早く乾きます。



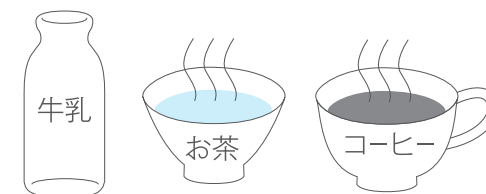
③掃除機は、畳表の目に沿って丁寧にかけます。

④畳縁の汚れは使い終わった歯ブラシに中性洗剤をつけてたたき、その後よく拭き取ります。

飲み物や油物をこぼしてしまった時の対処法

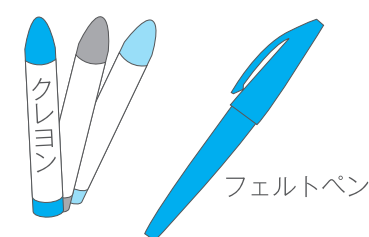
●お茶、牛乳、コーヒー、ジュース、ソースなど

汚した直後なら乾いた布で拭き取ってください。その後、濡れ雑巾で拭き取ってください。時間が経つにつれ汚れが染み込み落ちにくくなります。



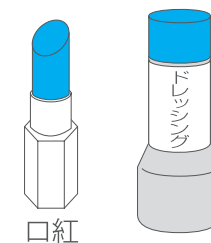
●フェルトペン・クレヨンなど

油性のフェルトペンはマニキュアの除光液で拭き取ってください。クレヨンはクレンザーをふりかけブラシでこすり、紙で拭き取ります。



●乳液、口紅、ドレッシング、バター、ケチャップなど

布に薄めた中性洗剤を含ませ、かたく絞ってから拭き取ってください。



襖

襖のお手入れ

襖紙や枠は、ハタキや乾拭きで、引き手は乾拭きや水拭きでお手入れをします。引き手まわりの襖紙は、きれいな消しゴムでこすり汚れを落とします。

敷居

敷居のお手入れ

普段は乾拭きでお手入れし、白木専用ワックスをときどきかけましょう。